

9月開設予定

介護医療院 オープニングスタッフ 募集

看護師

健康状態を観察し、薬の準備や
口腔ケアなどの健康管理と採血
などの医療行為を行っています。

介護職員

介護が必要な方々が安心・安全
な生活が送れるように見守りや
サポートをお願いしています。

施設ケアマネ 兼 介護職

担当介護士や看護師と協力し、
利用者にどのようなサービスが
適しているか考え、提案します。

管理栄養士

食事のカロリーや栄養成分を計
算して、食事する方の健康状態や
体調に合わせた献立を作ります。

理学・作業療法士、言語聴覚士 薬剤師も同時募集中

Interview

利用者さんの食事の様子や日々の会話から、体調や
小さな変化を見逃さないよう心がけています。必要に
応じて食事内容を調整し、「おいしく食べられる」こと
を大切にしています。工夫した食事で食べる量
が増え、表情が明るくなる瞬間に、この仕事の
やりがいを感じます。

■管理栄養士 渡部さん



採用に関するお問い合わせ
ご応募はこちら▶▶▶



介護医療院完成イメージ

医療が集まる つくばだからこそ、 必要な役割

大学病院をはじめ医療機関が充実
しているつくば市。方で、市原理事長
は「治療の先を担う場所はまだ足り
ない」と指摘します。
「治療は終了していても、退院後の受け
入れ先が整わず、入院生活が長引いて
しまう方が少なくありません。その結
果、本来必要な医療を受ける方の受け
入れが難しくなる場面が生じています。
介護医療院は、急性期医療と在宅・介
護をつなぐ役割を果たします。」
医療資源を地域全体で有効に活かす
ためにも、介護医療院の存在は今後ま
ずまず重要になっていきます。

働く人にとっても、 心に余裕を持てる職場へ

新設される介護医療院は、働く人にと
っても新しいフィールドです。いちは
らメディカルグループが掲げる理念は
「怒(じよ)の精神——相手の立場に
立ち、思いやりの心で接することです。
「忙しさの中で心の余裕を失ってしまっ
ては、良いケアはできません。職種の垣
根を低くし、相談しやすい雰囲気の大
切にできました」
働きやすい勤務体制や、職種を超えて
声をかけ合える環境も、同グループの
特徴です。
「最期の時間に関わる仕事だからこそ、
人としての思いやりを大切にできる人
と一緒に働きたいですね」

働く側にとっても、やりがいと安心感の ある職場を目指しています。 不安を感じたら、 まず相談してほしい

「将来、人で暮らせるのか」「親の介
護をどうすればいいのか」。そうした不
安を抱えたとき、市原理事長は「一人で
抱え込まないでほしい」と話します。
「骨折や脳卒中など、誰にでも起こり
得ることです。治療からその後の生活
まで、グループ全体で支えられる体制
があります。何かあれば、早めに相談
してもらえたらうれしいですね」
治療のその先にある「生きる場所」をつ
くる。いちはらメディカルグループの新
たな挑戦は、つくばの未来を静かに、そ
して確かに支え始めています。

PLAZA NEWSMAKER Vol.00

いちはらメディカルグループ

医療法人健佑会

いちはら介護医療院

☎029-877-0170 (入所相談受付)

茨城県つくば市大曽根3681

■電話受付

【月～金曜】9:00～17:00

※土・日・祝日休み

HPはこちら▶

いちはらメディカルグループ

検索



いちはらメディカルグループ

医療法人健佑会

理事長 市原 琢己さん

Takumi Ichihara

「家に帰れない人」の受け皿を、 地域につくりたかった

「高齢の独居世帯や、介護する側も
介護される側も高齢という、老老介
護は、これからさらに増えていきます」
そう話すのは、いちはらメディカルグ
ループ医療法人健佑会理事長の市原
琢己さんです。

医療の進歩により、病气やけがから命
を取り留める人は増えています。その一
方で、治療を終えても身体機能の低下
から自宅での生活が難しく、医療的ケ
ア(喀痰吸引や点滴など)の必要性が



ら、施設にも入所できないケースは少
なくありません。家族が遠方に住んで
いたり、介護を担う人が高齢であつた
りと、退院後の生活に不安を抱える人
は年々増えています。

「つくば市にはこれまで介護医療院が
ありませんでした。地域医療計画の中
でも医療と介護を一体的に提供し、在宅
療養を支える重要な施設として位置
づけられています。実際に、退院後の行
き先が決まらず、病院で過ごさざるを
得ない高齢の患者さんを何人も見てき
ました。長年地域医療に関わってきた
立場として、私たちが担うべき役割だ
と考えたのです」こうした想いから、同
グループは茨城県、つくば市に認可をい
ただき2026年9月つくば市に介護
医療院を新設することを決めました。

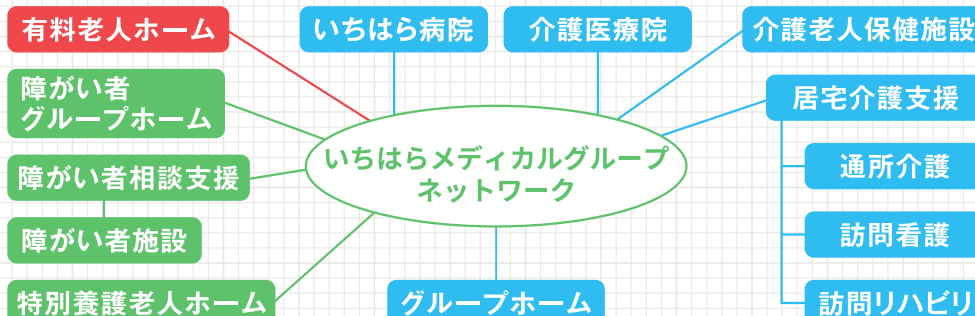
介護医療院とは、 どんな場所なのか

介護医療院は、医療と介護の両方を
必要とする高齢者が、長期的に生活で
きる施設です。点滴や経管栄養など二
定の医療行為が可能でありながら、病
院とは異なり「生活の場」であること
が大きな特徴です。
「従来の療養病棟では、どうしても治
療が終わった後、ただ寝て過ごす環境
になりがちでした。介護医療院では、
リハビリを行い、日中は身体を起こして
過ごすなど、できるだけ日常に近い時
間を大切にします」
食事や会話、季節を感じる行事など、
生活の質を保つことも重視されます。
単なる医療の継続ではなく、「その人の
暮らし」を支える場所であることが、
介護医療院の大きな役割です。

最期まで、その人らしく、 過ごせる環境を

介護医療院は、看取りまで対応する
施設でもあります。市原理事長が大
切にしているのは、入所者本人だけ
でなく「家族との時間」です。
「残された時間を家族と共有し、寝た
きりではなく、可能な範囲で生活に近
い形を保ちながら、穏やかに過ごして
ほしいですね」
医療と心の両面から、本人と家族に
とって納得のいく時間を過ごせる環
境づくりを目指しています。

地域の人たちに寄り添った「いちはらメディカルグループ」



治療のその先にある「生きる場所」をつくる
地域に寄り添う、つくば市初の介護医療院

高齢化が進む中、「治療後に自宅へ戻れない」という課題が深刻化しています。

2026年9月、いちはらメディカルグループはつくば市初の介護医療院を開業。理事長・市原琢己さんに、その役割と未来像を伺いました。